



鳥取放技ニュース

2 0 1 8
1 1 月 1 日

5 0 0

THE NEWS OF THE TOTTORI ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

発行所 (一社) 鳥取県診療放射線技師会 〒680-0845 鳥取市富安二丁目94番4 鳥取県保健事業団健診センター内
T A R T ホ ー ム ペ ー ジ t o r i h o u g i . c o m /

平成 3 0 年度鳥取県診療放射線技師会学術大会及び 創立 65 周年・法人設立 40 周年記念事業

開催日：平成 30 年 11 月 18 日 (日)

会 場：鳥取市 ホテルニューオータニ鳥取 「鶴の間」

スケジュール

- 9 : 00 ~ 9 : 30 会場準備
- 9 : 30 ~ 11 : 20 学術大会
 - 9 : 30 ~ 10 : 25 会員発表
 - 10 : 40 ~ 11 : 20 賛助会員プレゼンテーション
- 11 : 20 ~ 12 : 00 小休憩 (軽食あり)
- 12 : 00 ~ 13 : 00 記念講演
- 13 : 30 ~ 14 : 30 記念式典
 - 1) 式辞
 - 2) 祝辞
 - 3) 来賓紹介
 - 4) 祝電披露
 - 5) 表彰
 - 知事表彰
 - 会長表彰
 - 会長感謝状
 - 6) 受賞者代表謝辞
- 14 : 30 ~ 14 : 40 記念撮影 (写場)
- 14 : 50 ~ 16 : 50 祝賀会
 - 1) 主催者あいさつ
 - 2) 祝辞
 - 3) 鏡開き
 - 4) 乾杯
 - 5) 余興
 - 6) 万歳三唱

平成 30 年度 (社) 鳥取県放射線技師学術大会・がん検診研究会プログラム

平成 30 年 11 月 18 日 (日)

(会場) ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間

鳥取県鳥取市今町 2 丁目 153

TEL: 0857-23-1111

JR 鳥取駅北口より徒歩で約 3 分

受付開始 (9:00~)

開会挨拶 鳥取県放射線技師会 会長 大久保 誠

一般研究発表 I (9:35~10:25)

座長 鳥取県立厚生病院 深田 尚洋

1 「FASE-FLAIR 撮像は可能か？」

○水落 勇氣¹⁾、松本 俊和¹⁾、山内 智恵美²⁾、金光 太郎¹⁾、深田 尚洋¹⁾、森里 昭典¹⁾

1) 鳥取県立厚生病院 医療技術局 中央放射線室

2) キヤノンメディカルシステムズ株式会社

2 「大腸 CT 検査と大腸内視鏡検査の所見が合致しなかった一例について」

○小山 翔太郎¹⁾、野口 直哉²⁾、水落 勇氣¹⁾、石本 昌宏¹⁾、福光 忠¹⁾、森里 昭典¹⁾

1) 鳥取県立厚生病院 中央放射線室、2) 鳥取県立厚生病院 消化器内科

3 「鳥取県における外部放射線治療装置の Isocenter に関する調査報告」

○砂川 知広

鳥取県立中央病院

4 「心臓シネ MRI におけるスライス間隔がスライス補間画像に与える影響」

○野崎 航平¹⁾、佐藤 浩之¹⁾、河窪 正照²⁾、酒匂 敏雄¹⁾

1) 鳥取大学医学部附属病院

2) 九州大学大学院医学研究院保健学部門

5 「除脂肪体重を用いた肝臓ダイナミック CT 検査における造影効果の検討」

○増田 大、坪内 寛、田後祐樹、仙石真、真砂雄大

山陰労災病院

メーカープレゼンテーション (10:40~11:20) 司会 真誠会セントラルクリニック 廣田 勝彦

「晩発生放射線障害予防のための X 線線量計の開発」

アクロバイオ社

休憩 (11:20~12:00) ※軽食あり

記念講演 (12:00~13:00)

司会 鳥取県放射線技師会 会長 大久保 誠

「心・大血管のインターベンション」

鳥取市立病院 診療局長 橋本 政幸 先生

閉会挨拶 鳥取県放射線技師会 副会長 福光 忠

私の趣味

鳥取大学病院の野崎航平

初めまして。鳥取大学医学部附属病院 1 年目になります野崎航平も申します。エッセイという形で紙面を割いて頂き恐縮でございます。私の趣味が旅行でありますので、そのことに関してエッセイを書かせて頂きたく存じます。大学に在籍中は国際保健サークルに所属しておりました。私が所属していたサークルでは自分たちが興味のある医療テーマをたて班を作り、テーマに沿って国内外を問わず医療機関を訪問し自分たちの見聞を広めるという活動をしておりました。実際私が立班した際は、台湾を訪問し台北市内にある病院を複数個所訪問したことがあります。台湾も医療水準は日本と同程度に発達しておりますが、台湾のホスピスでは入院費が無料になるなど日本と大きく異なる点が存在しとても有意義な経験をすることが出来ました。国際化が推進されている現在、幅広い視野を持って業務に励み私自身の知識を広められるようにしていきたいと存じます。皆様、これからどうぞよろしくお願いたします。



放射線被ばく説明のための基礎知識 —その 6—

鳥取県 被ばく相談員 桂川正美 (鳥取市立病院)

＜実効線量について＞

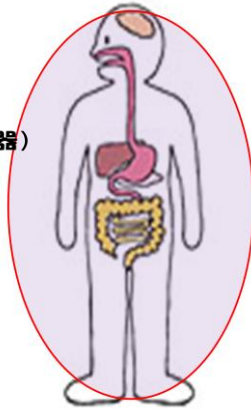
胸の X 線撮影の空中での線量 (吸収線量: 空気カーマ) 0.2mGy の X 線が照射されたと考えます。実効線量は各臓器の受けた等価線量 (Sv) にその 15 部位に分けられた臓器の組織加重係数 (図中の 0.12 0.08 0.04 0.01 の値) を乗じた値の総和として求められ、単位は Sv です。全身に 0.2mGy 照射されたとき、等価線量を 0.2mSv (吸収線量=等価線量) としてしまえば、図 1 (a) のように実効線量は 0.2mSv となります。

図 2 (b) では X 線が胸部だけに 0.2mGy (0.2mSv) 照射されることとなります。(吸収線量を等価線量とすれば 0.2mGy=0.2mSv) これから実効線量を計算すると 0.069mSv となります。

実効線量 (Sv) =

- (0.2×0.12……骨髄)
- + (0.2×0.12……結腸)
- + (0.2×0.12……肺)
- + (0.2×0.12……胃)
- + (0.2×0.12……乳房)
- + (0.2×0.12……残りの臓器)
- + (0.2×0.08……生殖腺)
- + (0.2×0.04……膀胱)
- + (0.2×0.04……食道)
- + (0.2×0.04……肝臓)
- + (0.2×0.04……甲状腺)
- + (0.2×0.01……骨表面)
- + (0.2×0.01……脳)
- + (0.2×0.01……唾液腺)
- + (0.2×0.01……皮膚)

= 0.2mSv



図—1 (a)

実効線量 (Sv) =

- (0.02×0.12……骨髄は10%)
- + (0×0.12……結腸)
- + (0.2×0.12……肺)
- + (0.02×0.12……胃は10%)
- + (0.2×0.12……乳房)
- + (0×0.12……残りの臓器)
- + (0×0.08……生殖腺)
- + (0×0.04……膀胱)
- + (0.2×0.04……食道)
- + (0×0.04……肝臓)
- + (0.2×0.04……甲状腺)
- + (0.02×0.01……骨表面は10%)
- + (0×0.01……脳)
- + (0.02×0.01……唾液腺は10%)
- + (0.02×0.01……皮膚は10%)

= 0.069mSv



図—1 (b)

組織	組織加重係数 W_T	組織加重係数の合計 ΣW_T
骨髄 (赤色)・結腸・肺・胃・ 乳房 残りの臓器組織	0.12	0.72
生殖腺	0.08	0.08
膀胱・食道・肝臓・甲状腺	0.04	0.16
骨表面・脳・唾液腺・皮膚	0.01	0.04
合計		1

式で実効線量を示すと、

$$\text{実効線量 (Sv)} = \Sigma (\text{各組織の等価線量} \times \text{その組織加重係数})$$

になり、各臓器の受けた等価線量 (Sv) にその 15 部位に分けられた臓器の組織加重係数 (図中の 0.12 0.08 0.04 0.01 の値) を乗じた値の総和として求められます。

＜次号へつづく 6/10＞

● 訃報

総合療育センター医務部 診療放射線主任 田熊(たくま) 晋(しん) 氏の御実父 田熊 誠(まこと) 様(75歳)におかれましては、平成30年10月25日(木)に御逝去されました。
ここに謹んでお知らせします。

● 訃報

谷口病院勤務の山本和心会員のご母堂さま 山本 恒子 様 (83歳)が、10月24日(水)にご逝去されました。御逝去されました。
ここに謹んでお知らせします。

● 会員動向

○新入会

藤原 泰裕 鳥取大学医学部附属病院

会員の皆様へ

所属施設、自宅住所、登録アドレス等の変更がありましたら
事務局まで「変更届」の提出をお願いします

※ 変更届は鳥取県診療放射線技師会ホームページ (<http://torihougi.com/>)
よりダウンロードできます

publictart@gmail.com (広報担当) まで